

ガス工作物等技術基準調査委員会 議事要旨

開催日時	2020年3月2日（月）～2020年3月13日（金）
開催場所	書面審議
回答者	堀委員長、吉川副委員長、大畑委員、川畑委員、清野委員、久保内委員、佐藤委員、澁谷委員、福和委員、水谷委員、原田委員、櫻井委員、渡部委員、林委員、門委員、田中委員、若林委員、越路委員、後藤委員、伊藤委員、杉森委員、本多委員 計22名
議事概要	<p>以下の議案について、全ての委員から同意が得られたので、委員会の決議事項とされた。</p> <p>（１）第一・二・三小委員会に関する審議</p> <p>① 指針見直しに係る運用方法の変更（審議） 指針の改訂に係る審議事項を低減することを目的として、初回審議にて軽微な修正と判断された場合や、修正内容が確定された場合は、最終審議を不要とすること。</p> <p>（２）第二小委員会（供給）関係の技術指針改訂に関する審議</p> <p>① 供給分野の耐震設計指針の改訂（最終審議） 初回審議での改訂内容と変わらず、引用規格・図書類との整合や、単位系の統一や有効桁数の整理等を行い、『高圧ガス導管耐震設計指針』、『中低圧ガス導管耐震設計指針』および『長柱座屈防止のための耐震設計指針』を改訂・発行すること。</p> <p>② 『高圧導管指針』の改訂要否（初回審議） 前回改訂から5年を経過し、技術の進展や、法令や引用規格等の改正・改訂が認められることから、高圧導管指針を改訂すること。</p> <p>（３）第三小委員会（内管）関係の技術指針改訂に関する審議</p> <p>① 『超高層建物用ガス配管設計指針』の改訂（最終審議） 「実務課題の解決」（既存の設計手法を応用した設計手法の適用範囲拡大）、「記載内容の充実」、「建築構造設計の基本的事項の追加」、「その他、数値の単位修正等」の4つを目的として改訂・発行すること。 なお、資料4-3 11～13ページの自重及び地震力による発生応力の算出式について、最大応力の算出であることの説明を記載すべき、との指摘を反映し、文章表現を一部修正し改訂する。</p> <p>② 通達廃止確認を受けた『供給管・内管指針』の改訂（審議） 経済産業省の通達廃止の確認を受け、改訂が必要な項目について供給管・内管指針を改訂すること。また、本件は第一号議案に基づき、初回審議にて修正内容が確定できる事項として、最終審議を不要とすること。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>